

平成29年度

事務事業評価表 A (平成28年度の実績評価)

記入年月日  
平成 29 年 3 月 17 日

Table with columns for project name, policy system position, budget items, and fiscal year. Includes details for 'School Education Enhancement' and 'Mitsuyama Elementary School Construction'.

【Do】 1. 事務事業の現状把握 (その1)

Table with 2 columns: ①事務事業の概要 (Project Overview) and ②担当者が行う業務の内容・やり方・手順 (Task Details). Includes a description of the school construction project and a list of tasks like design and construction.

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

Table with multiple columns for indicators (手段, 対象, 意図) and years (27年度 to 31年度). Includes data for activity counts, target numbers, and achievement rates.

(3) 投入量 (事業費) の推移

Table showing input amounts and costs for 27, 28, 29, 30, and 31 fiscal years. Includes sub-categories like national treasury expenditure, prefectural expenditure, and personnel costs.

Table showing internal expenses (事業費の内訳) for 28 and 29 fiscal years, categorized by expense type like travel, wages, and materials.

(4) 当該年度の実施内容

Table with 4 columns for implementation content for 29, 30, and 31 fiscal years. Includes a list of activities like school construction and renovation.

事務事業名	(仮称) 桃山小中一貫教育校建設事業	事務事業No.	30101000931	所属課	学校教育課
-------	--------------------	---------	-------------	-----	-------

【Do】 1. 事務事業の現状把握 (その2)

(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?

平成27年3月議会において、桃山中学校区保護者から統合に関する請願書が提出され、議会で採択された。これを受け、平成27年6月議会において建設に関わる補正予算が議決されたことから、本事業が実施されることとなった。

(6) この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者)からどんな意見や要望が寄せられているか?

統合準備委員会委員が参加するワークショップにおいて、新校舎に関する意見や希望が出され、可能な限り設計案に反映させている。

(7) 前回の事務事業評価に対する改革・改善の具体的内容

改革改善を行う

工事の契約にかかる消費税増税が前回の例によると9月末が増税前のリミットになる。実施設計完了予定が7月末ごろになるため、そこから契約までの手順を確認しておき、なるべく早く契約出来るような方法を検討・実施する。

【See】 2. 評価の部 \*原則は事前評価。

評 価 項 目

目的 妥当性	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?)	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	市が平成26年に示した適正配置基本計画に沿った事業であり、政策体系と結びついている。
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?) (法定受託事業はその名称)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	対象校は桜川市立の小中学校であり、市内の小中学生に適正な学習環境を確保することになるため、市が達成する目的として妥当である。
	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?)	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある	この事業の推進により、市が計画した適正配置基本計画は桃山中学校区において達成されることになる。また、児童生徒の学習環境の向上につながるため、打ち合わせを重ねてより良い校舎を作り上げることができる。
有効性	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?)	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有	真壁小学校の校舎は長期的に見て耐震性が十分ではないため、事業が中止・休止すると児童生徒の安全性に問題が出てくる可能性がある。 紫尾小学校は適正配置基本計画で示す適正規模を満たしておらず、達成できなくなる。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか?(市以外の取り組みも含む) ) (他に手段がある場合) ⇨ 具体的な手段、事務事業名	<input checked="" type="checkbox"/> 余地がない	適正配置基本計画に示された通り、現在でも紫尾小学校は適正規模を満たしていない状況であり、その改善に本事業の推進は不可欠となる。他地区の状況によっては、周辺他校が本事業による校舎に統合の可能性はある。
効率性	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか?やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか?)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	他市町村の学校建設事業費と比較しても建設工事にかかる費用は安価になっており、削減は難しい。建設工事にかかる職員人件費についても基本的に通常業務と兼務で行っており、削減の余地は無い。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?)	<input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である	市内小中学校すべてを対象とした適正配置基本計画に基づいた建設計画であり、市内児童生徒の適正な学習環境を確保するという目的であることから、公正・公平である。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性 (次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																								
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	平成30年4月の開校に向けて平成28年11月に建設工事を開始した。毎週の定例会議を行い、工事監理事業者、建設事業者との連携を密に取って進められている。																								
③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																									
⇨																										
⇨																										
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																								
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止		(複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる																								
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策		<table border="1"> <tr> <td colspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> </table>				コスト					削減	維持	増加	成果	向上		○		維持			×	低下			×
		コスト																								
		削減	維持	増加																						
成果	向上		○																							
	維持			×																						
	低下			×																						
建設工事が始まってからも、現場で想定しなかった状況が発生したり、学校からの要望等が上がってくる状況であり、常に解決策を検討しながら工事を進めている状況である。関係者が協力し合って一つ一つの問題、課題に対応しながら進めていく必要がある。		(6) 事務事業優先度評価結果																								
		成果優先度評価結果																								
		コスト削減優先度評価結果																								

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価	確認欄
<input type="checkbox"/> A: 継続(現状維持)      C: 終了、廃止、休止 <input type="checkbox"/> B: 継続(改革改善を行う)      D: 2次評価へ提出	<input type="checkbox"/>